

学校法人東京聖栄大学 第Ⅲ期中期計画（2020-2024）

～ 夢を育み個性を育てる学園の基盤強化ミッション ～

<環境変化と学園の課題>

<求められる視点・キーワード>

<主な取組み 及び 目標値>（数値化できるものは目標値を設定）

・対象人口減少への適切な対応

- ①定員充足を常態化する。
- ②先手を打つ対策を実行に移す。
- ③高校との信頼関係を大切に、向上させる。

出願者数を増加させる。2024年度末 **各学校10%増** *大学・専門学校・幼稚園/2018年度対比
良質な留学生の受入れ。 **食品学科→5%程度**（各年次 数名以内） *早急な調査と実現
・定員充足の安定に向け教職員全員が取り組む。・高校訪問業務に専門スタッフを活用する

・施設老朽化の進行と改築計画

- ①所要経費を着実に積み立てる。
- ②適切な時期での改築構想

幼稚園 → 2024年度末 **3億円** *2号基本金及び減価償却合計額を計画的に積み増す。
現2号館・5号館 → 2024年度末までに**<基本構想>を策定する** *両館バリアフリー問題も合わせて解消する。

・認証評価受審における諸課題

- ①受審結果を踏まえた中期計画の作成

「参考意見」「書面質問」中の**対応すべき事項は、2022年度（令和4年度）までに解決する**
「優れた点」3事項は毎年度継続し**定着・強化**を図る（教科打合せ会による共通理解、FD活動、具体的防災対策）

・公的助成の大幅増加は困難

- ①財務の健全性
- ②人件費の抑制（大・専・幼・法人）

「**正常状態A3**」以上を維持する（日本私立学校振興・共済事業団による経営判断指標）

・教育の質の向上

- ①主体的自己点検活動・PDCA
- ②四大としての信頼確立

大学 → 学長リーダーシップ及び大学運営会議を中軸に、**教育の質の向上に向けた取組みを持続的に推進する**
専門学校・幼稚園 → **自己評価・学校関係者評価**に基づく教育の質の向上努力
<**建学の精神**「自立できる知識と技術を育み、強い向上心と真摯な行動力を備えた人材の育成」の具現化>
管理栄養士国家試験合格率 → 「管理栄養士養成課程（新卒）・**全国平均値**」を上回る**合格率**を毎年度達成する
就職率 → **就職率95%以上**を毎年度達成する *学科での学びを生かした分野・企業への就職 *希望者比率

- ③ステークホルダーからの評価を重視する。
- ④3学校の連携強化

大学 → 卒業時の**学生満足度90%以上**を毎年度継続する（30卒11期生：満足+大変満足→90.2%）
専門学校・幼稚園 → 学校関係者評価・卒業時生徒評価・保護者評価の重視
3学校の教育内容充実に寄与する連携を積極的に協議し推進する

・責任あるガバナンスと監査機能

- ①理事会の責任体制
- ②情報公表
- ③監査機能

理事長及び理事会の責任体制に基づく法人全体の適切なガバナンス *評議員会によるチェック *コンプライアンス
法令に準拠し適切に情報公表を行う *任意事項も積極的に公表・公開し社会からの信頼性向上に努める。
・法人監事、公認会計士、内部監査室、各監査の適切な実施 ・指摘事項への迅速かつ誠実な対応

・水害対策

- ①異常気象
- ②洪水・大型台風・水没の脅威

震災への備えに加え、洪水・大型台風・豪雨による内水氾濫・水没等も想定した水害対策を早急に検討し実施する